


草木に話しかけるカライ

 Ursula Nafula

 Jesse Pietersen

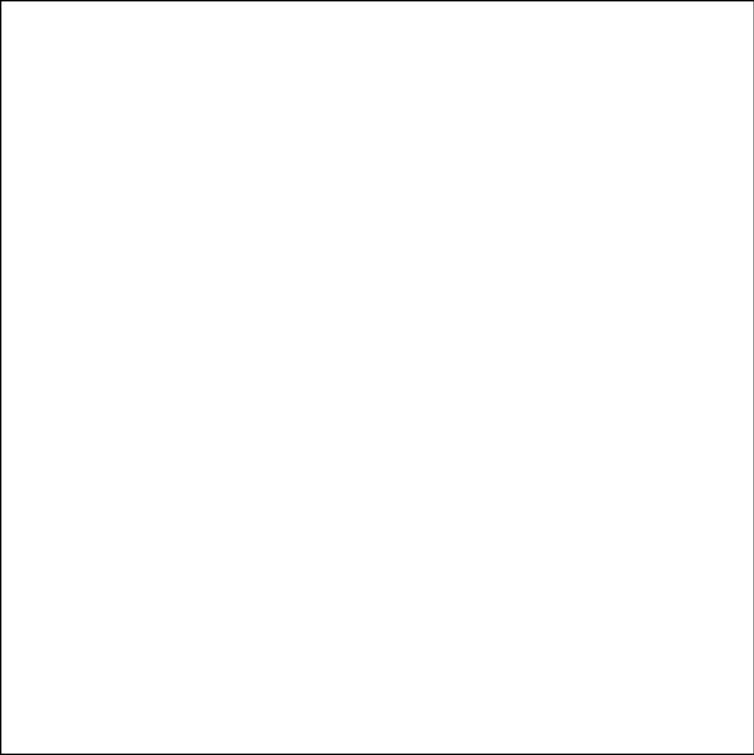
 Aiko Komatsu

 2

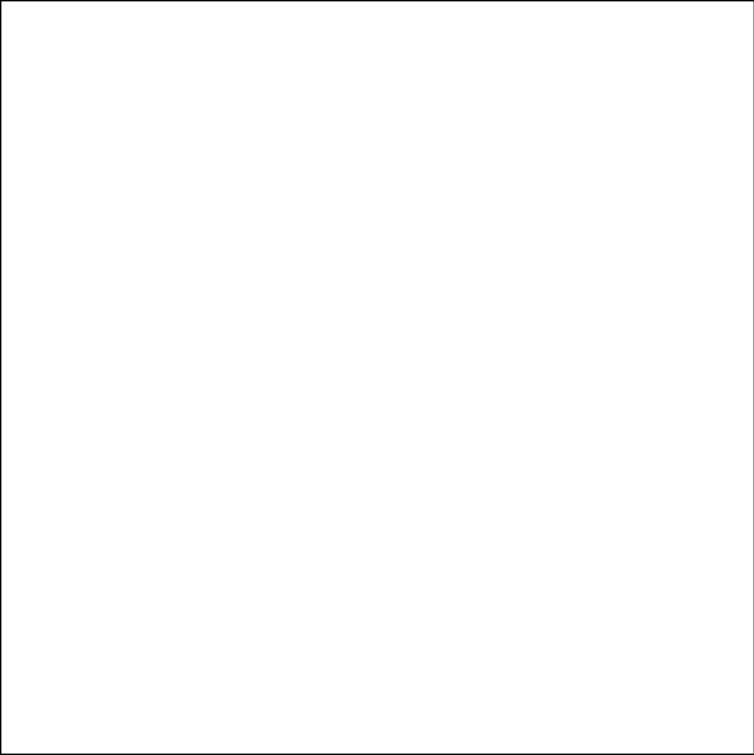
 日本語 ja



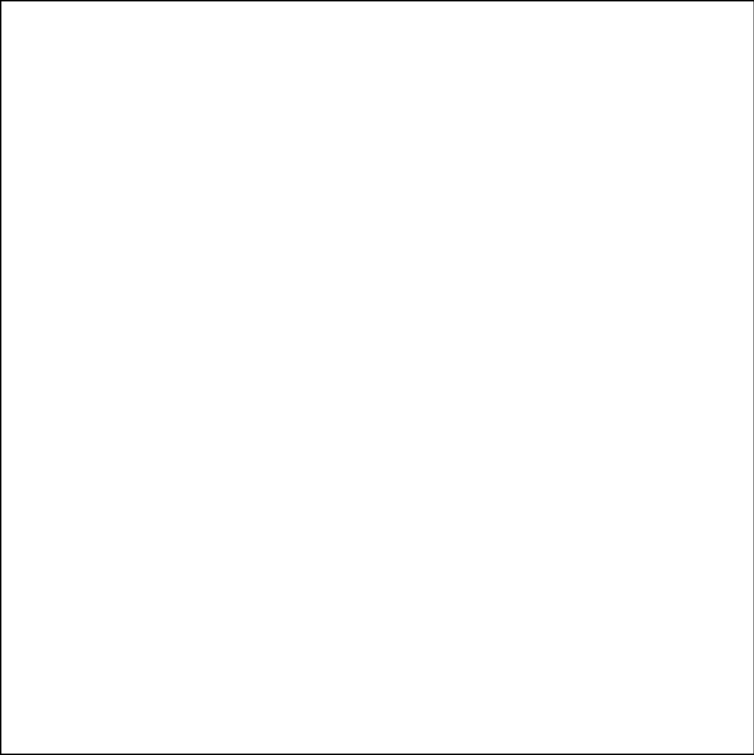
この子はカライ、7歳の女の子です。カライの名前はカライの国の言葉のブクス語で「良いもの」という意味です。



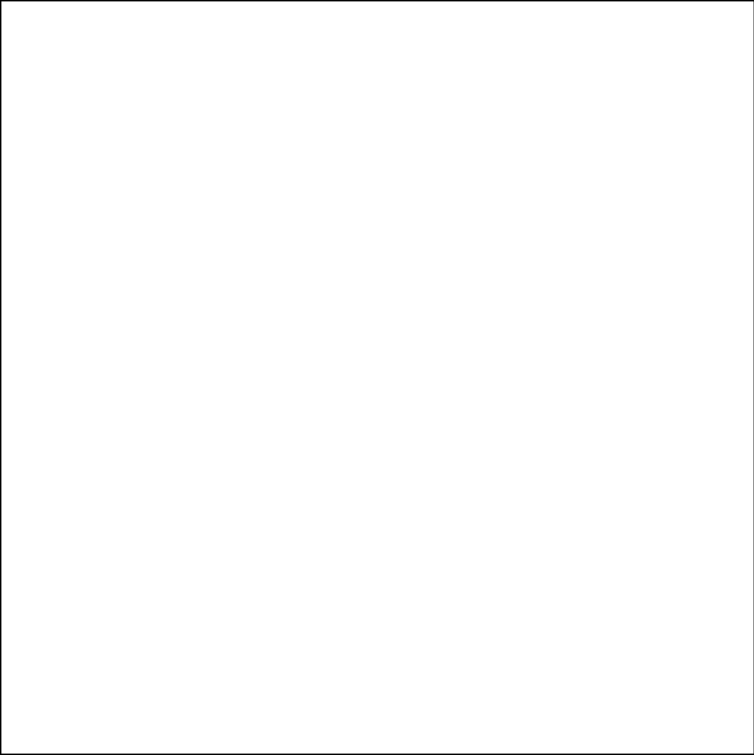
カライは起きるとオレンジの木に話しかけます。「お願い、オレンジの木。大きく育てて、私たちにたくさんの熟れたオレンジをちょうだいな」



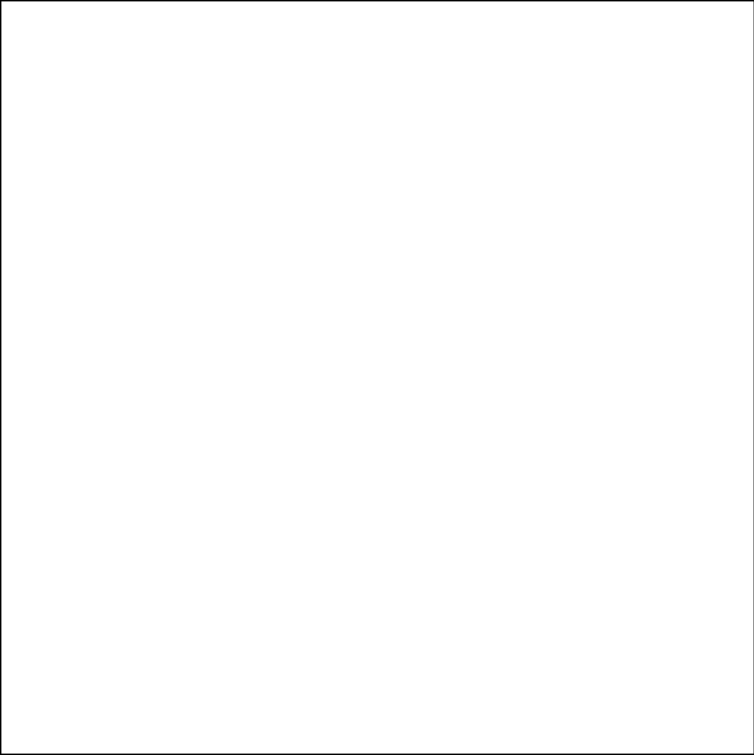
カライは学校まで歩いて行きます。歩きながら、カライは草に話しかけます。「お願い、草たち、もっと濃い緑になってね。カラカラに乾いたりしないでね」



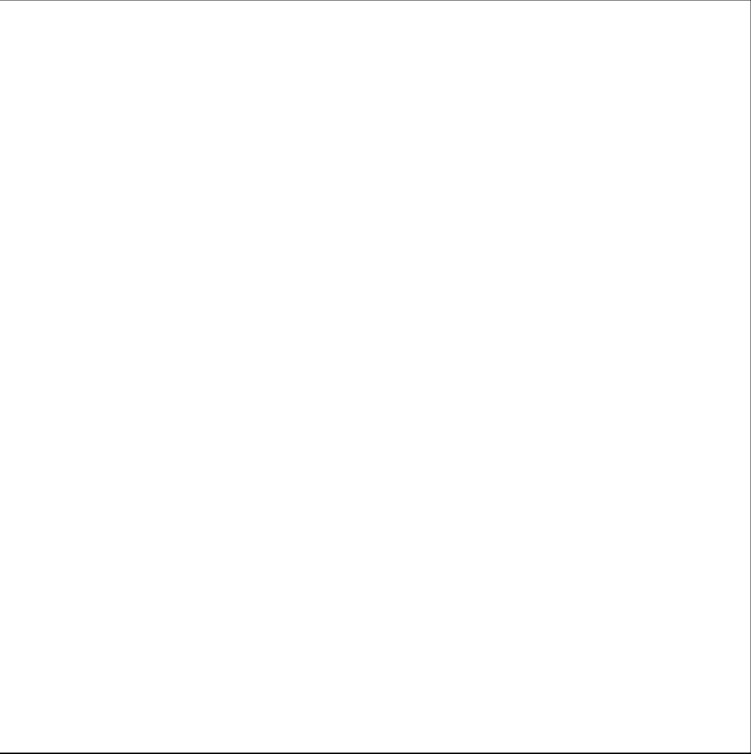
カライは野の花のそばを通ります。「お願い、
花たち、ずっと咲いていてね。私が髪に飾れる
ように」



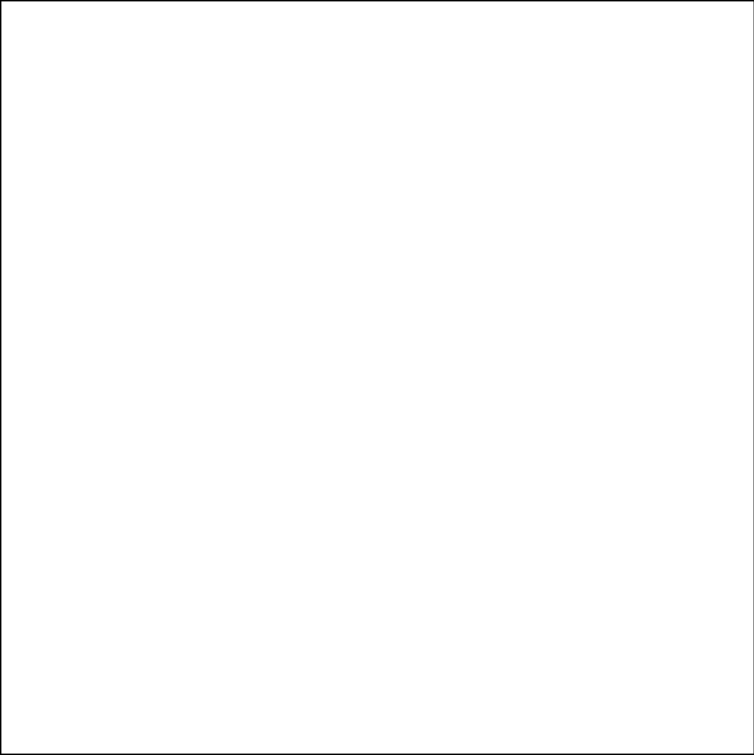
学校では、カライは校庭の真ん中にある木に話しかけます。「お願い、樹木さん、枝を大きく広げてね。私たちが木陰で本を読めるように」



カライは学校の周りをめぐる生け垣にも話します。「お願い、強く育ててね。悪い人たちが中に入ってこられないように」



カライは学校から家に帰ると、オレンジの木の
ところへ行き訪ねます。「オレンジの木さん、
あなたの実は熟れたかしら？」とカライは尋ね
ます。




「オレンジの実はまだ青いわ」と、カライはため息をつきます。「また明日ね、オレンジの木さん」とカライは言います。「多分その時には私のために熟したオレンジを用意してくれるわよね! 」



Global Storybooks

globalstorybooks.net

草木に話しかけるカライ

 Ursula Nafula

 Jesse Pietersen

 Aiko Komatsu

